

大輝教育委員会第775回 解答

<ISO 編 第19回/【「安いニッポン」に関する問題】>

「安いニッポン(価格が示す停滞)」中藤 玲 氏著(日経BP 出版)からの問題です。 望月

●問題1, 日本の「ダイソーの主な商品価格」100円に対して、①～⑦の国はいくらでしょう?【語群】の中から選んで下さい。※2021年1月時点の円換算です。複数使用あり。未使用もあります。

- ①中国 (**ウ・160円**)
- ②タイ (**オ・210円**)
- ③シンガポール (**ウ・160円**)
- ④オーストラリア (**カ・220円**)
- ⑤台湾 (**エ・180円**)
- ⑥アメリカ (**ウ・160円**)
- ⑦ブラジル (**イ・150円**)

【語群】 ア・90円 イ・150円 ウ・160円 エ・180円 オ・210円 カ・220円

●問題2, 日本の「ディズニーランドの入園料」8,200円に対して、A、Bの都市はいくらでしょう?【語群】の中から選んで下さい。※2021年2月時点の1日1パークあたりの大人価格。2021年1月時点の円換算です。

- A、フランス・パリ (**イ・10,800円**)
- B、アメリカ・フロリダ (**エ・14,500円**)

【語群】 ア・7,300円 イ・10,800円 ウ・12,000円 エ・14,500円

★これらの価格からも日本の物価が突出して安いことがわかります。物価が安いことは一見いい事に思えてしまいますが、これは先進諸国から大きく取り残されていることを意味しています。1980年代「日本は物価が高すぎて外国人は来にくい」というのが常識でした。コロナ前、日本はインバウンド需要、いわゆる「爆買い」などに沸いていましたが、日本に来る外国人が増える一番の理由は「日本の物価が安い」からです。観光地としての魅力や、“おもてなし”は二の次になってしまっています。これが続くとどうなるでしょう。「海外旅行が高価になり行けなくなる」「海外製品が高価で買えなくなる」「英語ができて能力の高い日本人はより待遇が良い海外に流出してしまう」「若者が留学したくても費用がかかりすぎてできなくなる」「企業や不動産が次々と外国に買われその下で日本人が働く」などなど、たくさんの弊害が現実となる可能性も否めません。日本がそういう現状に置かれていることをすべての人々が認識しなくてははいけません。